

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育・教職実践演習（幼稚園）	2	後期	演習	2	西元 道子

○授業の到達目標及びテーマ

- (1) 教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、ともに成長しようとする姿勢が身についている。
- (2) 教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。
- (3) 子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。
- (4) 保育者として必要な知識や技能が身についている。

○授業の概要

この授業は、これまで学んだことを確認しながら、現地調査（フィールドワーク）・ロールプレイング・事例研究・グループ討議・ICTを活用した活動などの取り組みを通して、保育者としての資質向上と自己の保育観の確立を目指す。また学生のより深い理解のために教科に関する科目の担当教員と連携を図り、オムニバス形式の授業展開を行う。

○授業計画

第1回：オリエンテーション

授業の概要と内容、履修カルテについて理解する。

第2回：子どもを取り巻く社会の現状について話し合う（笠野）

子どもを取り巻く家族関係や保育所など外部機関の役割を理解し話し合う。

第3回：子どもを取り巻く社会の現状について表現する（笠野）

子どもを取り巻く家族関係や保育所など外部機関の現状を表現する（寸劇）。

第4回：カウンセリングの理論と実際（若松）

子どもや保護者との関わりには、カウンセリングマインドが欠かせない。
カウンセリングの理論を簡単に理解し、実際に体験する。

第5回：客観的自己理解（自分に触れる）（若松）

TEGテスト（性格検査）とその解釈、活用について。
「私の木」作成—自分をさまざまな側面から、点検・確認する。

第6回：ピークエクスペリエンス（牧野）

運動遊びを通して、グループの力を高める動きづくりを学ぶ。

第7回：トレーニングとその効果（牧野）

トレーニングの原則と身体の動きのメカニズムを理解して、健康の保持増進の理論を学ぶ

第8回：中間まとめ（西元）

本科目において必須となる履修カルテの意義と目的、記入内容などについて確認し、これまでの学びを振り返り、記入する。

第9回：保育・幼児教育の表現活動①（中池）

打楽器（トーンチャイム）の特徴や奏法を知り、リズムを使った表現方法を学ぶ。

第10回：保育・幼児教育の表現活動②（中池）

グループごとに曲を選定し、打楽器を使った表現活動を行い発表する。

第11回：社会に出てからのビジネス文書について理解する（有岡）

ビジネス文書およびビジネスメールの形式や書き方について学ぶ。

第12回：ビジネス文書作成を実践する（有岡）

ビジネス文書やビジネスメールを作成するうえでの留意点や配慮点について具体的に理解する。

第13回：近年の保育、幼児教育の動向を知る（西元）

新聞記事から保育、幼児教育に関するものを取り上げ、詳しく調べる（グループ学習）

第14回：ポスター発表（西元）

グループごとにポスタープレゼンテーションを行う。

第15回：望ましい保育者とは（西元）

保育者に求められる具体的資質について、本科目の全体を振り返りながらまとめる。

○テキスト

必要に応じて資料を配布する

○参考書・参考資料等

ピコロ（学研）等学術研究誌

日本教育新聞（日本教育新聞社）

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

課題シートに基づく評価 60%、試験またはレポート 40%